

# AutoCAD<sup>®</sup> ユーザーに Autodesk<sup>®</sup> Vault をおすすめする主な理由

AutoCAD の設計データを管理できます。

Autodesk<sup>®</sup> Vault で設計データとエンジニアリング プロセスを一元管理できるため、企業は時間を節約し、コストのかさむミス回避して、設計をより効率的に変更およびリリースできます。

## 1 図面をチェックイン、チェックアウト

Vault の排他制御機能により、互いのデータを上書きすることなく、AutoCAD で作成された図面を使用できます。チームメンバーは、変更を加える前に設計をチェックアウトし、作業が完了したらチェックインして戻します。全員が協力して作業することで、リソースのバランスがよくなり、プロジェクトを完了まで迅速に進め、厳しい納期に対応することができます。

## 2 図面をすばやく検索

Vault に検索条件を保存したり、複数の条件を組み合わせる検索、ショートカットを使用してファイルを検索できます。Vault では、データベースの各ファイル内に情報が格納されているので、AutoCAD ファイル属性からカスタムプロパティを検索できます。

## 3 変更とリリースを管理

設計サイクル全体でファイルを安全にリリースおよび追跡することで、設計および製造時にミスが生じる確率を減らし、適切なデータにのみアクセスできるようになります。リビジョン管理機能により、設計データへアクセスできるユーザーを管理できます。データのリビジョン履歴を1つの安全な場所から監査および追跡できます。

## 4 既存の設計を再利用

複雑な設計や図面セットを手作業で再作成したり複製する手間を省き、設計時間を短縮できます。Vault を使用すれば、すべての関連ファイルおよびドキュメントを含む図面をコピーして、新しい設計に使用できます。置換、再利用、コピー対象のファイルの設定も簡単です。



## 5 図面をマークアップ、レビュー

Vault には、図面をレビューしたり、マークアップを追加できるツールが組み込まれており、コラボレーションを改善できます。マークアップ環境には、フィードバック用の完全なツール セットが備わっています。マークアップを作成したら、元のファイルが開始した変更管理にアタッチして、Vault 内で共有、管理できます。

## 6 履歴テーブルを自動更新

図面の履歴テーブルを手動で更新するプロセスは、時間がかかる可能性があります。図面のライフサイクルにわたって単純なプロパティの更新が必要になるような変更の場合、特にそうです。Vault 履歴テーブル機能では、自動的に図面の履歴テーブルを更新することができます。

## 7 シート セットのワークフローを強化

多くの設計グループの作業成果は、一連の図面で表されます。図面のセットによって、プロジェクトの設計意図全体を伝えたり、プロジェクトに関するドキュメントや仕様

書を提供できます。シート セット マネージャーの統合により、シートを Vault 内に格納でき、Vault で保管されたシート セットはオンラインまたはオフラインで使用することができます。

## 8 ファイルやフォルダーを名前変更、移動

外部参照やリンクが含まれる図面ファイルを、リンクを壊さずに名前変更、編成、移動できます。また、社内標準に基づいて新しくカスタマイズした名前や採番スキーマを指定できます。

## 9 Mechanical および Electrical ツールセットをサポート

Vault はファイル参照、マルチユーザー コラボレーション、部品表情報、ワークフロー固有の機能を維持する一方、AutoCAD Mechanical ツールセットおよび Electrical ツールセットをサポートしています。

Autodesk Vault の詳細をご確認ください。

[www.autodesk.co.jp/vault](http://www.autodesk.co.jp/vault)

Autodesk Vault データ管理ソフトウェアを使用すれば、設計ワークフローを妨げることなく、製品データを管理、追跡、整理できます。